

チリ共和国の パラカヌー選手団が 8月に！ きます

どんな選手たちが
来るんだ〜ご??



Welcome !!
Bienvenidos a Kami machi !!

Katherinne Wollerman

Robinson Méndez

パラカヌー選手 カテリン ウォラーマン

パラカヌー選手 ロビンソン メンデス

2013年、感染症により突然車いす生活となり、すっかり氣力を失っていたカテリン。リハビリのため、いろいろなスポーツを体験する中で、カヌーに出会い衝撃を受けた。「水の上では自分の思うがままに進める。まるで自分の足で歩いているみたい!!」

気がつけばカヌーに夢中になっていた。必死に練習に励み、3か月後には世界大会に出場するまで急成長。その後2016年のリオパラリンピック大会に出場したが、結果は惜しくも4位。カヌーを始めてから6年。次こそ金メダルを目指す!

ロビンソンはサッカー選手になることが夢でしたが、12歳のときに事故に巻き込まれ車いすに。しかし障害に負けずにトップレベルのパラアスリートになることを決意。その後20年間、車いすテニスに熱中した。負傷や手術を乗り越え、過去4回のパラリンピック大会に出場。しかし2017年、テニスに限界を感じ引退。引退直後に、大自然の中で漕ぐカヌーの魅力にはまり、さらなる目標を“カヌーで東京パラリンピック大会に出場する”として、アリエルコーチと共に厳しい練習に取り組んでいる。



パラカヌーコーチ アリエル ルビラー

Ariel Rubilar

13歳のときにスポーツクラブに入り、カヌーを始めた。大学卒業後は子どもたちにカヌーの楽しさや漕ぎ方を指導。そして指導力を学ぶためブラジルに1年間留学し、チリに帰国後は障がい者スポーツを習得。2015年にチリパラカヌー代表チームのコーチとして採用され、カテリンの専属コーチとなった。東京パラリンピック大会に向けて、日々の指導に燃えている。

これで ばっちり!! 豆知識

ばっちり

- 1 南三陸町にはチリから贈呈されたモアイ像が設置されています。イースター島の石材で創られたモアイ像は世界でここだけ!

ばっちり

- 2 “モアイ”は現地語で「未来に生きる」の意味があるよ
(モ=未来 アイ=生きる)

